

# 吸収合併に係る事前開示書面

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める書面)

2023 年 2 月 10 日

株式会社アカツキ

2023年2月10日

## 吸収合併に係る事前開示書面

東京都品川区上大崎二丁目13番30号  
oak meguro 8階  
株式会社アカツキ  
代表取締役社長 香田 哲朗

当社は、株式会社アカツキライブエンターテインメント（本店所在地：東京都品川区上大崎二丁目13番30号。以下「消滅会社」といいます。）との間で2023年2月10日付にて締結した合併契約書（その後の変更を含みます。）に基づき、2023年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社とし、消滅会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うことにしました。

本合併に関する会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に基づく事前開示事項は、下記のとおりです。

### 記

1. 合併契約の内容（会社法第794条第1項）

2023年2月10日付合併契約書の内容は、別紙1のとおりです。

2. 合併対価の相当性に関する事項（会社法施行規則第191条第1号）

消滅会社が当社の完全子会社であることから、本合併に際して株式その他の金銭等の交付は行いません。

3. 吸収合併に係る新株予約権の定めに関する事項（会社法施行規則第191条第2号）

該当事項はありません。

4. 吸収合併消滅会社に関する事項（会社法施行規則第191条第3号）

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

消滅会社の最終事業年度（自2021年4月1日至2022年3月31日）に係る計算書類等の内容は、別紙2のとおりです。

- (2) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

5. 吸収合併存続会社に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 5 号）

最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 191 条第 6 号）

当社の 2022 年 3 月 31 日現在の貸借対照表における資産の額は金 45,521 百万円、負債の額は金 7,894 百万円、消滅会社の同日現在の貸借対照表における資産の額は金 556 百万円、負債の額は金 3,695 百万円です。消滅会社は債務超過となっておりますが、当社は当該債務超過額相当額の貸倒引当金を計上しており、本合併の際に貸倒引当金を戻し入れることから、合併差損は発生しないものと判断しております。

また、本合併後の当社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、当社の債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておられません。

よって、本合併の効力発生日以後における当社の債務について、履行の見込みがあると判断しております。

以上

## 合併契約書

株式会社アカツキ（以下「甲」という。）及び株式会社アカツキライブエンターテインメント（以下「乙」という。）は、以下のとおり合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### 第 1 条（当事者の商号及び住所）

甲及び乙の商号及び住所は、次に掲げるとおりである。

甲（吸収合併存続会社）：

（商号） 株式会社アカツキ

（住所） 東京都品川区上大崎二丁目 13 番 30 号 oak meguro 8 階

乙（吸収合併消滅会社）：

（商号） 株式会社アカツキライブエンターテインメント

（住所） 東京都品川区上大崎二丁目 13 番 30 号

### 第 2 条（吸収合併）

甲及び乙は、甲を吸収合併存続会社とし、乙を吸収合併消滅会社として、吸収合併（以下「本合併」という。）をする。

### 第 3 条（合併対価）

甲は、乙の発行済株式の全てを所有しているため、本合併に際し、乙の株主に対して株式その他の金銭等の合併対価を交付しない。

### 第 4 条（甲の資本金及び準備金）

本合併により、甲の資本金、資本準備金及び利益準備金の額は増加しない。

### 第 5 条（効力発生日）

本合併の効力発生日（以下「本効力発生日」という。）は、2023 年 4 月 1 日とする。但し、本合併の手續の進行上の必要性その他の事由により必要がある場合には、甲及び乙は、合意の上、これを変更することができる。

### 第 6 条（合併契約の承認）

甲は、会社法第 796 条第 2 項の規定により、乙は、会社法第 784 条第 1 項の規定により、それぞれ本契約について株主総会の承認を得ずに本合併を行うものとする。

### 第 7 条（本合併の条件の変更及び本契約の解除）

本契約の締結日から本効力発生日に至るまでの間において、甲若しくは乙の資産・経営状態に重大な変更が生じたとき又は本合併の手續を阻害する重大な事態が生じたときは、甲及び乙は、合意の上、本合併の条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

### 第 8 条（本契約の効力）

本契約は、本効力発生日の前日までに本合併の実行に必要な日本国の法令に基づく関係官庁等の承認又は許認可等（もしあれば）が得られない場合は、その効力を失うもの

とする。

**第9条（準拠法及び管轄裁判所）**

本契約は、日本法を準拠法とし、本契約に関連する当事者間の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

**第10条（協議事項）**

本契約に定める事項のほか、本合併に際し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲乙協議の上、これを定める。

（以下余白）

本契約の締結を証するため、本契約書 2 通を作成し、各当事者がそれぞれ記名押印の上、各 1 通を保有する。

2023 年 2 月 10 日

甲： 東京都品川区上大崎二丁目 13 番 30 号 oak meguro 8 階  
株式会社アツキ  
代表取締役社長 香田 哲朗

DocuSigned by:  
**香田哲朗**  
478EC884B25944D...

乙： 東京都品川区上大崎二丁目 13 番 30 号  
株式会社アカツキライブエンターテインメント  
代表取締役 香田 哲朗

DocuSigned by:  
**香田 哲朗**  
BB3E8464A3264F4...

別紙2 消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等

# 事 業 報 告

(第 9 期)

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

株式会社アカツキライブエンターテインメント



# 事業報告

〔 2021年4月1日から  
2022年3月31日まで 〕

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及びその成果

当事業年度においては、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されております。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感が見られる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある他、新型コロナウイルス感染症による影響を注視していく必要があります。

そのような中、事業の選択と集中を進め、アソビル事業の終了及びそれに伴う引継ぎ、うんこミュージアム事業に関する事業譲渡を行いました。

以上の結果、当事業年度における売上高は410,446千円、経常利益は77,306千円、当期純利益は54,208千円となりました。

#### ② 資金調達等についての状況

該当事項はありません。

#### ③ 設備投資の状況

該当事項はありません。

#### ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

当社は、2022年1月27日付で株式会社マザーエンターテイメントに対してアソビル事業の商標権及びホームページサイト等に関して譲渡いたしました。また、2022年3月1日付で株式会社たのしいミュージアムに対してうんこミュージアム事業を譲渡いたしました。

#### ⑤ 他の会社の事業の譲受の状況

該当事項はありません。

#### ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

- ⑦ 他の会社の株式その他持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況  
該当事項はありません。

(2) 財産及び損益の状況

区 分	第6期	第7期	第8期	第9期
	(2019年3月期)	(2020年3月期)	(2021年3月期)	(2022年3月期)
売上高	1,186,508千円	2,486,528千円	587,417千円	410,446千円
経常利益又は経常 損失(△)	△438,858千円	△621,418千円	△229,266千円	77,306千円
当期純利益又は当 期純損失(△)	△1,000,631千円	△1,446,818千円	△693,732千円	54,208千円
1株当たり当期純 利益又は1株当 り当期純損失 (△)	△187,665.38円	△271,346.33円	△130,107.40円	10,166.64円
総資産	2,326,592千円	1,331,630千円	590,724千円	556,157千円
純資産	△1,052,866千円	△2,499,685千円	△3,193,417千円	△3,139,209千円

- (注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。
2. 第8期において売上高が減少している要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令等に伴う営業時間の短縮・休業等の影響及び事業の選択と集中を進めた結果、事業譲渡及び店舗閉鎖を行ったためであります。

(3) 対処すべき課題

当社の対処すべき課題は、以下のとおりであります。

(組織体制の強化)

当社がさらなる収益基盤の強化を目指すには、事業環境の変化に適応しつつ組織体制の強化を行うことが必要であると認識しており、組織体制の整備を進めて参ります。

(4) 主要な事業内容

項 目	事業内容
複合商業施設事業	バンクシー展の開催

(5) 主要な事業所

本 社 : 東京都品川区上大崎二丁目13番30号 oak meguro 8階

(6) 使用人の状況

従業員数	前期末比増減
3名	△4名

(注)使用人数は従業員(正社員)数であり、臨時従業員を含んでおりません。

(7) 重要な親会社および子会社の状況

当社の親会社は、株式会社アカツキであり、同社は当社の株式を5,332株（出資比率100%）保有しております。

(8) 主要な借入先の状況（2021年3月31日現在）

株式会社アカツキより、3,660,000千円を借り受けております。

(9) その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2. 株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 500,000株
- (2) 発行済株式の総数 5,332株
- (3) 株主数 1名
- (4) 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社アカツキ	5,332株	100%

3. 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役	香田哲朗	株式会社アカツキ代表取締役社長 株式会社Owl Age代表取締役社長 株式会社HykeComic代表取締役社長 一般財団法人東京アートアクセラレーション代表理事 株式会社フーモア取締役
取締役	森亮二	—

(2) 事業年度中に退任した取締役及び監査役

該当事業はありません。

(3) 取締役および監査役に支払った報酬等の総額

区分	支給人数	報酬等の総額	摘要
取締役	1人	1,200千円	—
計	1人	1,200千円	—

(4) 社外役員に関する事項  
該当事項はありません。

5. 会計監査人の状況  
該当事項はありません。

---

本事業報告書の記載金額は、記載単位未満を切捨てて表示しております。

計 算 書 類

(第 9 期)

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

株式会社アカツキライブエンターテインメント

# 貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	556,157	流動負債	35,366
現金及び預金	373,006	買掛金	3,561
売掛金	140,396	リース債務	36
前払費用	2,396	未払金	12,984
未収入金	33,969	未払費用	105
その他	6,389	未払法人税等	824
		未払消費税等	11,472
固定資産	0	預り金	6,381
有形固定資産	0	固定負債	3,660,000
工具器具備品	1,056	長期借入金	3,660,000
リース資産	393		
減価償却累計額	△1,449	負債合計	3,695,366
		(純資産の部)	
		株主資本	△3,139,209
		資本金	53,320
		資本剰余金	100,654
		資本準備金	50,654
		その他資本剰余金	50,000
		利益剰余金	△3,293,183
		その他利益剰余金	△3,293,183
		繰越利益剰余金	△3,293,183
		純資産合計	△3,139,209
資産合計	556,157	負債・純資産合計	556,157

# 損 益 計 算 書

〔 2021年 4月 1日から  
2022年 3月 31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		410,446
売 上 原 価		88,893
売 上 総 利 益		321,553
販売費及び一般管理費		274,166
営 業 利 益		47,386
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	3	
助 成 金 収 入	43,890	
そ の 他	1,804	45,698
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	15,598	
そ の 他	180	15,778
経 常 利 益		77,306
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	3,015	
事 業 譲 渡 益	16,270	19,285
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	0	
事 業 譲 渡 損	40,679	
減 損 損 失	260	40,940
税引前当期純利益		55,650
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,442	1,442
当 期 純 利 益		54,208



## 株主資本等変動計算書

〔  
2021年4月1日から  
2022年3月31日まで〕

(単位：千円)

	株主資本					純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	53,320	50,654	50,000	△3,347,391	△3,193,417	△3,193,417
事業年度中の 変動額						
当期純利益				54,208	54,208	54,208
事業年度中の 変動額合計	—	—	—	54,208	54,208	54,208
当期末残高	53,320	50,654	50,000	△3,293,183	△3,139,209	△3,139,209

## 個別注記

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品	3年～6年
--------	-------

2. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

(単位：株)

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	5,332	—	—	5,332
合計	5,332	—	—	5,332

2. 当事業年度末における自己株式の数

期末に保有する自己株式はありません。